

第12回（2024年度）学校関係者評価委員会報告書

学校法人 立志舎
 専門学校日本動物 21
 学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 第12回（2024年度）学校関係者評価委員会

<委員>（五十音順）

川口 雅章 氏 一般社団法人全国ペット協会 副会長
 北村 啓 氏 株式会社荏谷動物病院グループ 管理部・人事労務課長兼総務課課長
 近藤 大 氏 株式会社 Dog Nit's 代表取締役
 山崎 勇作 氏 立志舎高等学校 事務長

<事務局>

早川 公善 専門学校日本動物 21 校長
 水野 孝 専門学校日本動物 21 教務部次長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標は、「本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。」とあるが、教育目標については、学則に記載したうえで、設置認可先である東京都に届け出ている。職業実践専門課程認定に伴い、ホームページに基本情報として情報公開している別紙様式4に記載しており、学外にも広く公表している。また、学園の基本目標として、「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。これら、理念・目的・育成人材像は教職員には周知徹底しており、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学は独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入している。この「ゼミ学習」を通して、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業にも就職している。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p>

	<p>これらは、学則第1条に規定しており、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>明るく楽しい学園生活と資格取得実績、動物系企業をはじめとする民間企業への就職実績を両立することができた。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) コミュニケーション能力はとても大切だと思う。コミュニケーションが苦手な学生が多いので、ゼミ学習を通じて、その能力を高められるのは良い。また講義形式の授業のみだと、授業が終わるまで座ってられない高校生もいるが、グループを組んでの授業では最後まで座っていられるので、このような授業スタイルを継続してほしい。</p> <p>(2) 「ゼミ学習」は貴校の特色である。卒業生として、このシステムに何度も助けられた。今後も活発化していってもらいたい。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、この学園の基本目標は、以前より繰り返し教職員に伝えており、教務室、事務室、就職相談室などに掲示している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。この運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は運営本部または部次長会議で行っている。理事会、評議員会、校長会、部次長会議、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されているといえる。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職、および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより、「学生から信頼され、支持される学校づくり」が実現している。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システム及び学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。仮想プライベートネットワーク (VPN</p>

	<p>網)を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。全教職員にパソコンを貸与し、学生に対してはMicrosoft アカウントを付与し、就職情報のオンライン提供、細かな連絡が行える環境を整え、情報共有の効率化並びに業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての補足事項</p> <p>ハ. の項目について、今年度4月から立志舎では若手の校長も起用し、組織全体での若返りを図り、新たなカリキュラム・アイデアを出せる体制にした。また女性の管理職も増えた。</p> <p>ホ. の項目について、ホームページに様々な情報公開をしている。退学率・就職率など。シラバスについては、各科目の担当教職員の経歴等も細かく公開している。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問があった。</p> <p>(1) 仮想プライベートネットワーク (VPN) とはどのようなものか。 【回答】 インターネットを利用した仮想のネットワーク。全国にあるグループ校を全て1つの暗号化されたネットワーク内で運用している。学生の成績・出席等の個人情報扱うので、強力なセキュリティの運用をしている。今後は、USBメモリ等の使用ができないようにしていく。</p> <p>(2) 多くの女性教員が活躍されているとのこと。とても素晴らしいことだと思う。育休制度、産休制度が安心して使える職場であってほしい。先生方が生き生きと教壇に立っている姿は、学生の将来像にもなる。</p> <p>(3) 弊社もVPNを導入し、またUSBメモリの使用ができない環境にしている。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>教育理念等に沿った、各学科の目的を達成するために、カリキュラムは、学科で目標とする資格の取得および社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。その際、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において編成している。また、カリキュラム会議において、定期的に見直しを行っている。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>本学の学習スタイルは、各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、インターンシップ先や、学内就職セミナー等で得た意見や、年2回開催する教育課程編成委員会での意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行って反映させている。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門科目以外にビジネスマナー、就職ゼミナールなどの科目を設置している。</p>

また、新入生就職セミナーや企業の人事担当者を招く学内就職セミナー等では、求められる人物像などの説明を直接学生にさせていただき、学生の就職先から一定の評価を得ており、毎年求人をしていただき、採用されていることから判断できる。しかしながら、引き続き教育内容や指導方法についての検証は必要であると考え

ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか

1年次には、約1週間、必須単位としてのインターンシップを企業等と連携しながら行っている。また、入学時及び年間を通して、定期的に企業と連携した講習会を行っている。

ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。また、学生相談室を設置して学生の声を聞いている。普段から他の教員の授業も教室に入って見学している。

ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

成績評価および単位認定は、学則および専門課程便覧に基づき、9月と3月の年2回、厳正に行っている。学生には入学式および授業初日にも説明をしている。また、GPA算定をするため、システムを導入している。

チ. 資格取得の指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

コース毎に目標とする資格を明確に定め、その取得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。

リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

人材育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。

ヌ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じ自己啓発研修を実施し、教員個々のレベルアップを図っている。さらに、企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

基準3についての補足事項

ヘ. の項目について、単位取得の方法や出席について記載されている専門課程便覧を入学時に全学生に配布しており、全て明確化している。ヌ. の項目について、現場を知らない新卒採用者に対して、動物病院やペットショップで、教員のインターンシップをお願いしたい。他の高等教育機関の科目との単位互換性について、現状は姉妹校である東京法律公務員専門学校との単位互換のみである。今後は、横浜動物専門学校が開校するので、神奈川県内にある麻布大学との単位互換とともに、獣医師になる学生が愛玩動物看護師の仕事を知る、また愛玩動物看護師になる学生が獣医師の仕事を知るといったことが出来ないか検討中である。

	<p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問及び意見があった。</p> <p>(1) 弊社では、入社した1年目の従業員に対して、獣医師の研修の中に愛玩動物看護師の仕事内容を取り入れ、また愛玩動物看護師の研修の中に獣医師の仕事の一部を取り入れている。お互いの相互理解がないと指示の行き違いが発生したり、仕事の全体像が掴めず、チーム医療を行うことが出来ない。これらは、就職後に現場へ入ってからしか教えることが出来なかったもので、学校のカリキュラムの中に組み入れるのは良いと思う。ぜひ、獣医学部との連携を進めてほしい。</p> <p>(2) 弊社では、新卒者に対して入社前にアルバイトを行い、現場を体験し実務経験を積んでもらっている。</p> <p>(3) 東京法律公務員専門学校との単位互換は、姉妹校ならではの良さと感じた。立志舎高校でも、専門学校と協力して教育の充実を図っていきたい。</p> <p>(4) ス. の評価が3とのこと。研修内容を聞いたが、これだけ参加しているのであれば評価は4でも良いと思う。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>例年、新入生就職セミナーをはじめ、進路決定のための就職・公務員ガイダンス、学内就職セミナー、インターンシップを行っている。学内就職セミナー等には多数の企業等に参加していただいている。</p> <p style="text-align: center;">＜就職実績の報告があった。＞</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>コース毎に目標とする資格を明確にし、過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立て、ゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果としてあらわれている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。</p> <p style="text-align: center;">＜資格取得実績の報告があった。＞</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにし、その状況を日常コミュニケーションチェック表に記録している。学生が学校に来ることが楽しくなるように担任が心がけている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。</p> <p>担任以外にも相談ができるように学生相談室を設置し、匿名で電話相談ができるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し、長期欠席の学生が出ないように努力している。</p> <p>基準4についての補足事項</p> <p>退学率については、0%が理想である。昨年度は、日本動物専門学校は5%、専門学校日本動物21は6%であった。他のペット系専門学校の退学率よりは非常に低い数字といえる。しかし現状に満足することなく、より0%に近づけるようにしていく。検定の合格率は、どの検定試験も80%以上を目指していきたい。本校の動物看護コースについて、全日本グルーミング検定ベーシックが70%を下回っているのは大きな課題である。</p>

	<p>(1) 専門学校の退学と同じように弊社の退職についても、新入社員が働き始めてダメだったらその親が「もう行かなくてもよい」とアドバイスをしてしまうような風潮がある。しかし、貴校の卒業生は、社員登用試験へ取り組み、今年も数多くの卒業生が正社員となっている。このまま継続してほしい。</p> <p>(2) ハ. の評価が3とのこと。他校の退学率を比べると、はるかに低いはずだが、油断せずに4に近づけてもらえるようにカウンセラーの導入などを検討してもらいたい。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>本学では、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施した。</p> <p>さらに、学生の希望に沿ってインターンシップを実施している。これにより、ペットサロン、動物病院、ペットショップ、犬の訓練所をはじめ動物業界の就職先開拓につながっている。</p> <p>今年度より民間就職支援ポータルサイトを立ち上げ、求人票のリアルタイムの閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにした。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生は、様々な悩みを持っている。それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じており、保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>学生の経済的側面に対する支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度を設けている。これらの制度はすべて、貸与ではなく給付となっている。本学は引き続き、高等教育の修学支援新制度の対象校として認定されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を年に1回4月から6月の間に全学生を対象に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部、ブラスバンド部、バドミントン部、応援団、チアリーディング部、フィジーク部、ダンス部、漫画・イラスト部などのクラブ活動が存在している。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要であるため、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。同窓会の組織化、卒業生へのフォローアップ体制整備を検討する。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者様に送付している。また、必要に応じて保護者様に連絡を取り、面談をしながら学生の指導を行っており、その内容は学務システムに入力し、教員間で共有している。</p>

	<p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>取組が行われていないことが大きな課題である。</p> <p>基準5についての補足事項</p> <p>退学者の約半数が、精神面での不調が原因である。現在、専任カウンセラーがいないのが課題である。また学生支援に関して、学生と保護者に配布している専門課程便覧には、ハラスメントポリシーを載せており、教職員が学生や保護者に対してハラスメント行為をしない、もしあった場合の相談窓口等を掲載している。</p> <p>基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問及び意見があった。</p> <p>(1) 卒業生へのフォロー体制を検討している点が素晴らしいと思う。今現在は、卒業生が訪ねてきた場合は、どのようなことを行っているか。</p> <p>【回答】卒業生が訪ねてきた場合は、当時の担任や、顔見知りの先生が対応する。転職の相談の場合はキャリアセンター等を紹介する。しかし多くは、転職の手前の相談であり、場合によっては求人票の紹介もしている。</p> <p>(2) 経済的側面に対する支援については、限界があると思う。学校としても経営する上で経費がかかってしまう。</p> <p>【回答】他の専門学校では軒並み学費を上げているが、本校ではどこまで学費を上げずにこのまま維持できるか模索している。また特待生制度の採用数を増やす。このような形で支援ができるのではないかと考える。</p> <p>(3) 本校（高校）では毎週カウンセラーの先生に来ていただいている。カウンセラーの答えと、校長や教頭の回答が異なることがあり、新たな発見もある。専任カウンセラーに精神的なサポートを任せることが出来れば、教員は授業等の業務に集中して取り組むことができ、教員不足の解消にも繋がるのではないかと思う。</p> <p>(4) チ. について、高校との連携やインターンシップの受け入れなど積極的に行うことで、安定した入学者の確保が期待できるのではないかと思う。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、実習室、教員室、事務室などを設置し、維持管理については定期的な点検整備を行い、学内に担当者を置き、専門業者に定期的な点検整備を依頼、実施している。しかしながら、教育上支障がないとは言っても、教育上の必要性に十分対応できるようより一層整備していかなくてはならない。</p> <p>ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>海外研修等は中止したが、他のイベントは、ほぼコロナ前の状態に戻っている。学生が希望するインターンシップ先を担任と協力して受け入れ活動を行っている。インターンシップ先でインターンシップ評価票を記入していただき、学生指導に反映している。</p>

	<p>ハ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を行い、自衛消防隊を組織し、防火管理者を置き、消防計画を立てている。しかしながら、大規模災害等いつ何が起こるかわからない状況を考えると、災害時対応マニュアルを更に整備する必要がある、更に災害時対応のみならず、不審者対応のマニュアル作成なども必要である。</p> <p>基準6についての補足事項</p> <p>「ハ. 防災に対する体制は整備されているか」に関して、毎年評価が3だが、災害時対応マニュアルを作成中であり、次年度には4にできると思う。また犬の防災に関して、墨田区防災課と連携を進めている。連携の内容は、災害が発生した際に一定期間本校で犬を預かる。クレートを貸し出す。ペットフードの提供を行う予定である。</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 現在、弊社の両国にある施設では、墨田区と連携を取っている。飼い主様に対して、クレートトレーニング訓練のイベントを行い、飼い主様の防災知識を高めている。能登半島の震災時には、影響する約600件の飼い主様全てに連絡した。困っている飼い主様には、金沢の店舗に来ていただき、多店舗から送ってもらったフード等を提供した。今後も震災が発生した際には、どのような形で支援を行うことができるのかを、日頃から考えて準備しておくことが大切だと感じる。</p> <p>(2) ロ. の海外研修について、実施できない理由は十分理解できる。ただ私も学生時代に参加したが、よい経験になっており、今の仕事に役立っている。ぜひ復活させてもらいたい。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、毎年きちんと把握している合格状況や就職率に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>少子化時代にあり、募集定員を満たすことが難しくなっているが、両校とも入学定員を満たすことができた。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>本学は法人単位での財務公開体制をとっており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。現状は問題ないと思われるが、社会状況の変化を絶えず見据えながら検討していく必要がある、変更が必要な場合理事会・評議員会の承認を経て学則を変更する。</p> <p>基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問意見があった。</p> <p>(1) 少子化の中、入学定員を満たすことができることは素晴らしい。SNSの運用をしながら、広報活動をしていることも定員充足の理由の一つだと思う。SNSの運</p>

	<p>用は、担当部署があるのか。</p> <p>【回答】担当部署があり広報部が行うが、事務方の広報部が授業内容等に対する細かいコメントを載せることが難しいので、実際には現場を把握している教員が授業を行いながら、撮影とアップロードをしている。</p> <p>(2) ハ. の学納金について、引き上げを行っていないとのことであるが、物価高、設備の充実などを考えると多少の引き上げは必要なことではないだろうか。維持費だけでも引き上げることで設備の整備ができれば、引き上げが逆に学生への還元になるのではないかと思う。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般についてであるが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められており、予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事 2 名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第 47 条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>基準 8 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、意見、質問はなかった。</p>
<p>基準 9 法令等の 遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、法令遵守規程を作成し、教職員に徹底している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。また例年、外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度はオンラインで研修を受講した。本学は動物取扱業として東京都に登録しており、動物取扱責任者を選任し必要な知識や技術を習得している。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護規程を設定しており、プライバシーポリシーを設定し、入学時に配布する「専門課程便覧」に公開している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。教職員には規程の遵守はもとより、インターネット使用時の暗号化なども徹底しており、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、学校評価研究機構の基準により、点検、評価を行っている。令和 4 年度分は、令和 5 年 1 月 31 日に実施した。問題点は軽視せず、自己評価において「ほぼ適切」以下の項目についての改善に努めている。</p>

	<p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開しており、学校関係者評価委員会で報告し、評価を頂いている。</p> <p>基準9についての補足事項</p> <p>「ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか」に関して、教務室のデスクから離席する際には、個人情報の書類を机の中にする、裏返しにするなど徹底している。入学時には、全学生に学生の顔や名前等を SNS 等にアップロードする承諾書を取っている。もし削除要請があった場合には直ちに対応している。</p> <p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 個人情報の管理は大切である。少しの油断で何か起きた場合には、大きな責任問題につながるので今後もしっかりと行っていってほしい。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>開校時より、家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを行っている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。具体的には学生の校舎外の近隣清掃を開校時から行っており、清掃活動は近隣住民からも好評である。</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>学校が所有する資産を近隣住民に提供することは必要であると考えているが、まだまだ課題が残っている。</p> <p>基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) ハ. の項目は充実させてほしい。それが社会へのアピール、入学者増へ繋がるはずである。当社も協力してほしい。</p> <p>(2) ハ. の項目は、3でも十分ではないかと思う。</p>

〔総括的な意見〕

- (1) 貴校の取り組みを、本校（高校）でも活かして取り組んでいきたいと思う。
- (2) 貴校は毎年、優秀な学生を送り出している。今後も学生から選んでもらえるような企業になるように努力していく。
- (3) 改善要望はないが、ゼミ学習をこのまま継続してほしい。退職理由で、人間関係の構築が出来ない、

失敗を体験して心が折れてしまう、など精神面に起因したことが多い。そこで一旦リセットしてしまうと、その後のキャリアが構築出来なくなる。もし、対人関係能力、コミュニケーション能力、論理的思考能力が備わっていれば、リセットしなくても問題解決が可能であると思う。ゼミ学習を通じて、これらの能力を育むことが出来ると思う。これらの能力は、学生たちの人生の糧になり、社会に出て壁にぶつかった際にも自分で解決することができるのではないかと思う。

- (4) 問題ない評価だと思う。今後も油断せず、学校運営、教育活動を行っていただき、学習成果を高めていてもらいたい。自分が卒業した学校が発展することはとても嬉しい。当社も協力させていただく。